

とよやま

No. 169
議会だより
6月定例会



ゴールテープは目前、最後まで全力疾走

(関連記事P16)

能登半島地震から学ぶ……P14・15

議案PICK UP …………… P4・5

7人が一般質問 …………… P6～13

輝く人を紹介 町のキラッと…… P16

議会のインターネット中継が始まりました

- ・定例会(初日)
 - ・一般質問
 - ・議案質疑(3月のみ)
 - ・定例会(最終日)
- ご覧いただけます

豊山町議会
【公式】
チャンネル



町のホームページから
会議録がご覧いただけます

<https://www.town.toyoyama.lg.jp/>



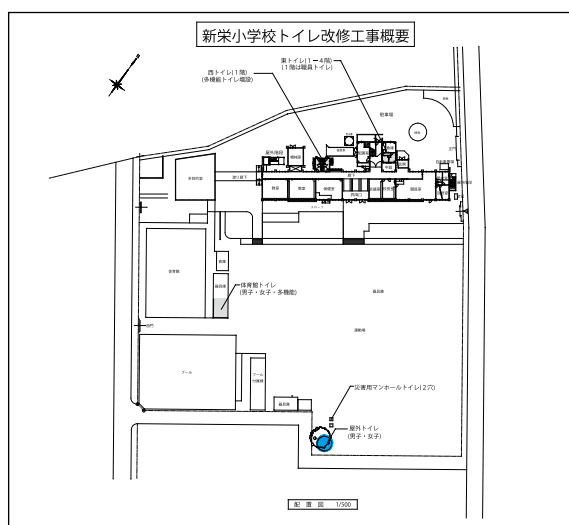
6月定例会のあらまし

令和6年第2回定例会が6月3日から17日まで開かれました。令和5年度の一般会計など繰越明許費の報告が2件あり、新栄小学校トイレ改修工事など工事請負契約の締結3件、人権擁護委員の推薦、条例の一部改正3件、一般会計、特別会計、事業会計補正予算3件の10議案が上程され、いずれも原案通り同意・可決されました。

新栄小学校トイレ改修工事

- ・校舎、体育館などトイレの洋式化や多機能トイレを設置
- ・校庭にマンホールトイレを新設
- ・工期:令和7年1月31日まで
- ・基本的には、夏休みや土曜日、日曜日、祝日などに施工

▶改修工事概要図



▼現在のトイレ

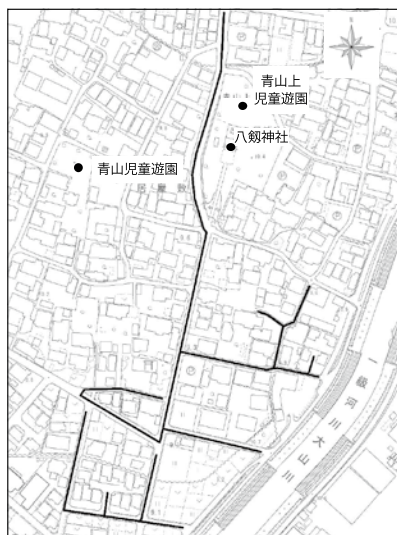


上青山地区の下水道工事

■その1

- ・工期:令和7年3月19日まで
- ・町道1号線ほか9路線

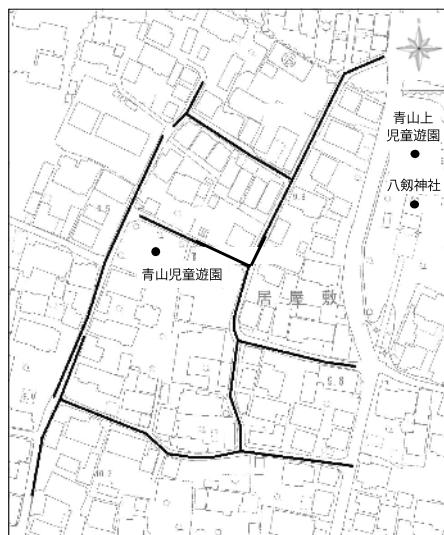
▶工事場所の平面図



■その2

- ・工期:令和7年3月19日まで
- ・青山地内町道118号線ほか5路線

▶工事場所の平面図



6月定例会

議案 PICKUP

一般質問

トピックス

おしえて!?地空人くん

第18回



地空人くん

人権擁護委員とは

人権擁護委員とは、法務大臣が委嘱した民間の人達で、人権擁護機関を構成する一翼を担っています。豊山町には3人の委員があり、よろず相談や人権作文コンクール、12月の人権週間に小学校で人権教室を行うなど、さまざまな啓発活動に取り組んでいます。



議会の流れはどうなっているの？
子どもたちにも分かりやすくおしえて！



地空人くん

本会議

開会 議長が開会を宣告し、本会議が始まります。
上程 議案について町長から説明があります。

本会議

一般質問 議員が町政全般について質問します。

本会議

議案質疑 議案について疑問点を質問します。
委員会付託 議案などを詳細に審査するために、関係の委員会に付託します。

委員会

付託された議案などを審査して、委員会としての結論を出します。

本会議

委員長報告 委員会での結果などについて報告します。
討論 議員が賛成・反対の意見を述べます。
採決 議案などについて賛成・反対の表決を行い、町議会の意思を決定します。
閉会 議長が閉会を宣告し、本会議が終了します。

6月定例会

議案 PICKUP

一般質問

トピックス

議案 PICK UP

定例会で審議された議案や事業をピックアップして、
その中身や質疑を詳しく説明します

議案一覧

令和6年第2回臨時会(4月)

番 号	議 案	審議結果
承認第2号	税条例の一部改正の専決処分	全員賛成承認
承認第3号	都市計画税条例の一部改正の専決処分	全員賛成承認
議案第34号	令和6年度一般会計補正予算(第1号)	全員賛成可決

令和6年第2回定例会(6月)

番 号	議 案	審議結果
議案第35号	工事請負契約の締結(新栄小学校トイレ改修工事)	全員賛成可決
議案第36号	工事請負契約の締結(下水道工事 その1)	全員賛成可決
議案第37号	工事請負契約の締結(下水道工事 その2)	全員賛成可決
議案第38号	人権擁護委員候補者(坪井玲子)の推薦	全員賛成同意
議案第39号	税条例の一部改正	全員賛成可決
議案第40号	都市計画税条例の一部改正	全員賛成可決
議案第41号	下水道条例の一部改正	全員賛成可決
議案第42号	令和6年度一般会計補正予算(第2号)	全員賛成可決
議案第43号	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	全員賛成可決
議案第44号	令和6年度下水道事業会計補正予算(第1号)	全員賛成可決

議長は議決には加わりません。太字は次項に掲載
議案39号以降は8名での議決です(欠席者1名)

6月定例会

議案 PICK UP

一般質問

トピックス

議案 第41号

下水道条例の一部改正

- 国の「デジタル原則に照らした規制の一括見直しプラン」による変更
- 排水設備指定工事店の営業所ごとに責任技術者を専属させる規制を見直し、愛知県内の営業所間で兼務が可能となり、作業効率の向上や人材不足の解消につながる

資源（プラスチック）用袋の作製

1197万円

- プラスチック資源（プラスチック製品、食品トレーや発泡スチロール）の収集方法を見直すため、新たに資源用袋を作製
- 令和7年4月から週1回の路線収集を予定

Q 資源用袋についての詳細内容は。

A 黄色の透明色で「資源用袋」と記載する。大きさは、不燃用ごみ袋と同サイズ、10枚1組で販売予定である。令和7年1月から購入できるよう準備をしている。価格は現在検討中で、決定後、速やかに皆さまへお知らせする。

新型コロナワクチン接種の実施

2169万円

- 令和5年度の高齢者インフルエンザ予防接種と同程度の接種を見込んで予算化

対象者	65歳以上の方、60歳から64歳までの重症化リスクの高い方
負担額	3000円
接種時期	秋から冬にかけて
接種回数	年1回



マイナ保険証へのシステム改修

629万円

- マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴うシステム改修
- 国民健康保険加入者のマイナ保険証登録率は、57.9%（令和6年4月現在）

Q 国民健康保険証がマイナ保険証に移行する今後の流れは。

A 現在発行している健康保険証は、12月2日に廃止され新たに発行できなくなる。廃止の時点で、すでに発行している保険証は、改正法の経過措置により廃止日から最長1年間は引き続き使用可能としているが、愛知県は有効期限を令和7年7月31日までで検討中である。
マイナ保険証を持っていない方は資格確認書を送付し、持っている方は資格情報のお知らせを送付する。現在の国民健康保険証廃止後も、安心して保険治療を受ける事ができる。

一般質問
ラインナップ

あなたの思い、議会へ

一般質問とは、町が行っている事業や計画について議員が住民に代わって質問したり要望を伝えたり、今後の町のあり方について議論、提言することである。

6月10日(月) 7人が質問に立った。
一問一答方式で、制限時間は答弁を含み1人60分。

議会だよりには、太字のみ掲載

1	熊沢直紀	●スカイプールの在りかたについて ●豊山中学校改築基本計画について ○豊山町の防災訓練について	P. 7
2	大口司郎	●防災協定について ●自治会について	P. 8
3	水野晃	●能登半島地震を踏まえた自助・共助	P. 9
4	岩村みゆき	●窓口に軟骨伝導イヤホンを ○教員の働き方改革に向けて ●町のハラスメント対策について	P.10
5	岩下竜也	●プラスチック資源の一括回収	P.11
6	作野桂子	●災害ボランティアの活性化を ●PTAの改革は	P.12
7	岡島剛	●町道の道路規制の見直しを	P.13

◎全文記録（議事録）は、9月上旬に町ホームページに掲載しますのでご覧ください。



くまざわ なおき
熊沢直紀 議員
KUMAZAWA Naoki

Q. 同一敷地内に新築しては

A. 町民の皆さまからの声が大切

先の5月に「豊山中学校改築基本計画に関する住民懇談会」があった。建設費の国庫補助率は、10分の1程度になるとの局長の答弁であった。

豊山中学校施設整備基本構想会議では、最終的に現在の敷地内に仮設の教室を造り、今の場所へ新しい校舎を建てる案を基本として事業を進める方向でまとめられた。

なぜ、小学校校舎と中学校校舎を同一敷地内に新築するという案が出てこなかったのか。同一敷地内に小・中学校を建築することにより、施設の共用やランニングコストの削減が期待できるものと考えている。

教育委員会事務局長
構想会議では、目指すべき中学校の在り方について議論をいただいたものである。

Q 中学校新築後、すぐに豊山小学校の新築に着手しなければならない。中学校の敷地の中の南の端に仮設校舎

を造り、最終的に豊山中学校の敷地内に中学校校舎と小学校校舎を隣り合わせに新築したらどうか。

また、利便性や交通に対するの安全性も確保すれば、豊山中学校と豊山小学校の建築費は軽減されるし、工期も短縮されるのではないかと。

将来的に少子化に対しても対応しやすいし、職員同士の交流もできる。駐車場も台数が多く使えるし、運動場も広く使える。教育長の見解は。

教育長
こうした課題は、地域づくりや防災計画、地域コミュニティなども深く関わりがあり、豊山小学校だけを取り出すのではなく、さまざまなデータを共有し、多くの町民の皆さまから声がかかることが大切である。

Q. スカイプール廃止の再考を

A. 考えは変わっていない

先の全員協議会において、豊山中学校改築基本計画について、現在の豊山中学校で、運動場の仮設校舎に教室を移転して敷地北側に校舎を新築する案を基本として事業を進めていくとの表明があった。

移転案は採用されなかったから、スカイプールの廃止を考えて直しても良いではないか。

Q 毎年一千数百万円の経費が必要であるからスカイプールを廃止の方向とこのことであるが、スカイプールの条例を改正して、値上げをすれば、町の持ち出しは限りなくゼロになる。町内・町外の方の使用料の値上げを検討し、来年度開場してみてもどうか。

教育委員会事務局長
施設の老朽化が進んでおり、維持管理費も増加してい

る。多額な改修費用も必要であるから、廃止の考えは変わっていない。

Q 教育委員会が豊山中学校改築基本計画で、現地で建て替えたいという考えを公表した。このことについて、鈴木町長はどのような感想をお持ちか。

町長
構想会議で時間をかけ慎重に議論、検討して決定した結果であるから尊重する。



スカイプール廃止の再考を



おおぐち しろう

大口司郎 議員

OGUCHI Shiro

Q. 防災協定は

A. 今後も災害時応援協定を締結

豊山町と名古屋市による防災協定により、北部市場に避難できることだが、現在のこの地区は安全なのか。

Q 現在、この付近は人や車が安全に通行できるのか。

A 産業建設部長
治水対策により、東海豪雨級の雨量でも北部市場周辺では大きな被害はないと考える。

Q 北部市場の、何処に避難するのか。関係者の協定や約束などはされているのか。

A 企画調整部長
避難場所は、管理棟や大会議室などで警備員が常駐しており、24時間受入可能。

Q 現在、久田良木川と堂前川の合流点に排水ポンプを設置しているが、この付近は浸水が無くなるのか。

A 産業建設部長
ポンプ増強工事については、令和10年度の完成を目指している。10年に1回程度発

生する降雨に対して、床上浸水の解消が図れるものと想定している。

Q 排水容量が不足する場合に、他にどのような対策を考えているか。

A 企画調整部長
情報に注意して、早目に避難行動をとるよう口頭から啓発している。

Q 協定は、名古屋市ののみか。隣接する市町との防災協定は。

A 企画調整部長
平成29年に東尾張地区においては9市2町で災害時相互応援協定を締結している。平成30年に広域行政研究会に参加する2市3町で災害時における相互応援に関する協定を締結している。

今後も、必要性などを踏まえ、自治体、公的機関と民間企業などと災害時応援協定を締結していきたい。

Q. 自治会の存続は

A. 地域にとって必要不可欠

自治会加入は半分以上で役員は輪番のような状況である。町以外からもさまざまな業務を依頼されている。

Q 現在の自治会の加入率はどれくらいか。

A 企画調整部長
加入率は、令和6年3月現在で46.23%である。

Q 未加入の住民は今後どのようにするのか。

A 企画調整部長
自治会は地縁に基づく任意の団体で、町が加入を義務付けることはできない。

Q 自治会自体の存続はどのように考えるか。町以外の団体などからの募金などの依頼はどのように考えるか。

A 企画調整部長
自治会は地域にとって必要不可欠なものである。他団体から自治会への依頼については、その趣旨や目的を理解したうえで、ご協力いただきたい。

Q 自治会に参加している町の職員について具体的な内容や計画を説明して欲しい。

A 町長
地区委員の活動を支援し関係を強化し課題や状況を把握することを目的としている。



みずの あきら
水野 晃 議員
MIZUNO Akira

Q. 具体的な連携の方策は

A. 各組織の取り組みを支援

令和6年元日に発生した能登半島地震は、南海トラフ地震が予想される本町にとって、他人事ではない。

豊山町の現状に置き換え、対策をとらなければならぬ。このような状況の中であるがゆえ、私は、隣近所の助け合いである共助の取り組みが非常に重要であると考えている。いざというときに共助を有効に機能させるためには、平時における常日頃の顔の見える関係づくりが大切である。私は、地区自主防災会の立ち上げに参加し、10年以上活動をしているが、人間関係が希薄になっている。そこで、質問する。

Q 顔の見える関係づくりに、小学校区単位の自主防災会では、範囲や人数が大きすぎ、いざというときの避難誘導や安否確認に不安を感じる。きめ細やかな単位である地区自主防災会との連携が必要であると考えている。



A 企画調整部長

小学校区単位の自主防災会や地区自主防災会はもちろんのこと、自治会、子ども会、各家庭などさまざまな団体や個人が日頃の活動に防災の観点を取り込むことが重要であると考えている。そのため、地区の実情に応じて、学区、地区の防災組織が中心となつて、それぞれの役割を認識し、連携を深め、さまざまな活動を積極的に行い、顔の見える関係づくり、きめ細やかな啓発に努めていただきたいと考えている。

Q 能登半島地震のような大規模な災害においては、小規模単位の自主防災会組織は、全員が被災者となる事態も発生しているとの報道もある。

った。そのため、縦・横の連携が重要と考える。町としての具体的な連携の方策は。

A 企画調整部長

学区防災会による防災訓練、地区防災計画の作成や防災ハザードマップの作成などの協働の取り組みは、各団体の連携やネットワークづくり、顔の見える関係づくりの場でもあると考えている。こうした学区防災会などの取り組みを今後も引き続き積極的に支援していく。

Q 地区自主防災会などで、一時避難場所には避難される方は、高齢者が多いと想定される。一時避難場所への町の対応は。

A 企画調整部長

一時避難場所は、広域避難場所へ避難する前の中継地点として、避難者が一時的に集合し、様子を見る場所である。発災直後は、地区自主防災会や自治会、近所の助け合いなどの共助により避難誘導や安否確認の一端を担って

いただくことになる。そのため自治会や自主防災会などによる日頃の訓練などが大変重要となる。町としては、こうした取り組みを積極的に支援していく。

Q 家具の固定や感震ブレイカーの設置など、自らの取り組みも大切である。豊山町は、減災対策としての感震ブレイカー設置補助事業を開始した。制度を開始して2カ月が経過したが、現時点での申請受理件数は。

A 企画調整部長

現在、7件の申請をいただいている。まだまだ周知ができていない結果であると思う。より多くの方にご利用いただけるよう周知していく。





いわむら
岩村みゆき 議員

IWAMURA Miyuki

Q. 窓口に 軟骨伝導イヤホンを

A. 導入に向けて検討する



軟骨伝導イヤホン

町では、令和6年7月から保険課内フロアに包括支援グループを移設し、グループ間の連携強化を図る。高齢者にとって、利便性も上がるのではないかと期待する。

しかし、耳の遠い方へ広いフロア内、大きな声で話してプライバシーがないのも、いかがなものか。

軟骨伝導イヤホンとは、耳の入り口付近にある軟骨を振動させて音を伝える仕組みのイヤホンで、軽くあてるだけで、はつきりと聞き取ることができる。また、イヤホン自体に穴が空いていないため、消毒もしやすく清潔を保つことができる。



◎ 高齢になれば、難聴とまでもいなくても、耳が遠くなる方も多い。

軟骨伝導イヤホンを窓口に設置してはどうか。

◎ 生活福祉部長
町では、耳が聞こえにくい方への窓口対応は、筆談や、来庁者の近くで個人情報に配慮しながら、普段より大きな声でゆっくりと説明するなど相手に合わせた対応に努めている。

しかしながら、耳が聞こえにくい方でも安心して窓口で説明を受けたり、相談できたりする環境づくりは重要であると考ええる。

軟骨伝導イヤホンについては導入に向けて検討する。

Q. 町のハラスメント対策は

A. 対策委員会を開催し指導

◎ 職員がハラスメントを受けた時の対策は。

◎ 総務部長
「豊山町職員のハラスメントの防止等に関する規定」を定め、令和2年4月から施行している。

本規定では、ハラスメントに関する定義のほか、町長や所属長の責務、相談窓口の設置、相談への対応を審議するためのハラスメント対策委員会の設置を規定している。

必要に応じてハラスメント対策委員会を開催し、対応を協議し、関係職員に必要な指導や助言などを行っている。

◎ 不当な要求や悪質なクレームを受けるカスタマーハラスメントから職員を保護するため、名札の表記をフルネームから名字のみに変更す

る自治体がある。

ひらがな表記で外国人住民や高齢者にも読みやすく、現場の安心につながっていると聞く。町でも、名札を変更してはどうか。

◎ 総務部長
本町の職員が着用している名札については、フルネームを漢字とローマ字で併記している。

近年、自治体職員の名札を名字のみに切り替える動きが広がっている。インターネットで職員の個人名を挙げて悪口を書き込まれたり、SNS上で職員に成りすますなどの被害が相次いでいることから、カスタマーハラスメント対策の一つとして実施されているものである。本町においても、名字のみの変更について検討する。



いわした たつ や
岩下竜也 議員
IWASHITA Tatsuya

Q. 一括回収移行への周知は

A. さまざまな機会を通じて説明

私たちの日常生活において、ごみ問題は避けて通れない課題である。不法投棄、カラスによる被害、資源回収など、多くの問題が存在している。これらの問題は、私たちの生活環境だけでなく、地球環境にも大きな影響を与えている。令和5年の12月議会において「ごみ・資源の分け方や排出方法に関する議論を行った。当局からは、新たに資源袋を作成し、プラスチック類の一括回収を令和7年4月から開始予定との回答であった。また、収集についても、資源の一部を路線収集する予定とのことであった。一括回収開始まで、残り10カ月足らずとなっており、新たに作成する資源袋を活用し、資源の一部を路線収集するための準備を進めているところだと思つ。今回の大規模な変更に伴い、私は、町民への周知を「最優先事項」として位置づけている。

特に、異物の混入による、収集車や処理場での火災リスクは、私の深刻な懸念事項である。プラスチック類が発火した際には消火が困難であり、大規模な事故につながる可能性がある。

Q プラスチック資源の一括回収に移行することの目的についての見解は。また町民への周知はどのように案内するのか具体的に問う。

A 生活福祉部長
家庭ごみの排出量が、皆さまの分別のご協力により、一定の減量化は進んでいるものの、県内の自治体と比較しても多く、ごみの減量化が課題となっている。本町の家庭ごみの排出量の現状を踏まえ、プラスチック資源の一括回収を行うことで、これまで焼却処分していた「プラスチック製品」をリサイクルし、更なるごみの減量化に繋がっていくこと、また、プラスチック資源をまとめてお出しいただくことで、ごみの排出に係る町民の負担軽減を図ることを目的に実施するものであ

る。周知については、27地区すべての地区へ説明に伺うとともに、「広報とよやま」をはじめ、ホームページやSNSなども活用して案内を行っていく。また、環境フェスティバルなどのイベントの際にも啓発していきたいと考えている。

Q 「広報とよやま」ホームページやSNSを活用した案内について、これらのメディアを通じてどのような情報を提供する予定なのか。また、これらの情報提供によつて、皆さまの理解を深めるための具体的な方法は考えているのか。また、環境フェスティバルなどのイベントでの案内についても、どのような形で情報を提供し、町民の参加を促す計画があるのか。

A 生活福祉部長
特集記事や新たに作成するごみ・資源の品目別早見表の掲載、イラスト入りの分別方法などを用いて分かりやすく案内していく。

なお、地区の説明会を始め、環境フェスティバルや健康・福祉フェスティバルなどのイベント、老人クラブやサロンなど、さまざまな機会を通じて説明していく。また、環境フェスティバルのクイズラリーなどで、プラスチック資源の分別に関するクイズを盛り込み、来場された皆さまに楽しみながら関心を高めていただけるよう工夫し、ご理解いただけるよう努めていく。





さくのけいこ
作野桂子 議員

SAKUNO Keiko

Q. 私費・公費の基準を示しては

A. 先進事例を研究する

PTAは「煩わしい」「面倒」というイメージがあるが、問題が起きた時などに保護者の意見を伝えるなどの大切な役割があり、これまで学校教育の中で多大な役割を果たしてきた。一方で、同意を得ずに保護者を強制加入させることや同意なく会費を徴収すること、個人情報管理なども問題だと指摘をされている。今後PTAを存続させるため、活動の簡素化、会費の透明性など、工夫・改善できる点は数多くあると考え、質問する。

Q 西春日井地区、豊山町では、令和6年度から加入の意思確認をすることとなったが、経緯・理由は。

A 4月後半に「PTAの会費の集金について」として「入会します」か「入会しません」に〇をつけて提出する通知が出された。総会では経緯・理由を説明されたが、欠席された保護者に対してはどうか。

A 教育委員会事務局長
時代と共に、子育てを取り

り巻く社会環境が変化すること、課題が全国的に発生し、西春日井地区でもこうした意見が出された。本町でも、より慎重に進める必要があると判断され、今年度から書面による意思確認がされた。

今後、加入率低下防止のためにも、年度中途加入をはじめPTAの趣旨などについて周知されるよう、学校とPTAが協力していただきたい。

Q 会費の透明性確保のため「私費・公費の区分」を明確にし、PTAから寄付を受ける備品、公費で購入する備品などの基準を設け、統一的な取り扱いを示すべきでは。

A 教育委員会事務局長
備品については、法令で明確に規定されていない。PTA会費は、公費負担の水準を質的量的に上回るものに対して支援を受けることができる経費と捉えている。基準については、学校とPTAが協力しあい相談していただけるよう、先進事例を研究する。

Q. 災害ボラ支援活動助成金は

A. 必要性も含めて検討

災害ボランティアは、被災者に寄り添い、ニーズに応じてきめ細かな活動をするなど、生活再建や被災地の復興において、欠かせない存在である。

普段から、自主防災組織やボランティア団体などと呼ばれる、災害ボランティアネットワークを構築することや災害ボランティア活動に対する町民の意識を高め、環境づくりを促進するための取り組みが必要であると考え質問する。

Q 国は災害ボランティアの高速道路無料措置を実施している。住民への周知は。

稲沢市、北名古屋市、安城市では災害ボランティア支援活動助成金を出している。本町も設立してはどうか。

A 企画調整部長
高速道路無料措置について

てHPなどで周知する。

災害ボランティア支援活動助成は先進自治体の状況を調査し必要性も含めて検討する。

Q 発災時に少しでもスムーズな対応・復興ができるよう、自主防災会、消防団の方たちに災害ボランティア活動に参加してもらえるよう、きっかけづくりをしては。

A 企画調整部長
防災に関わる方が、現場で体験しなければ得ることができない知識やノウハウを習得、助け合いの連鎖が生まれるなど、重要な意義がある。今後、自主的な活動や取り組みを案内するなど、引き続き啓発する。





おかじま つよし
岡島 剛 議員
OKAJIMA Tsuyoshi

Q. 町道の通行規制の見直しは

A. 沿線住民の合意が必要

豊山小学校の通学路となっているため、町道354号線の豊山小学校校門前から町道56号線（豊山交番から八所神社）までが歩行者専用道路となっている。その規制時間が午前7時から午後5時までと10時間になる。また、この規制は、日曜・休日を除くとなっている。他の町道では、このような長時間の規制は、あまり見受けられない。

町道354号線の沿線に建売住宅やアパートなどが建ち、この町道を利用する方が増加し、大きく様変わりしている。沿線住民の方から、現状では、当該道路を通行することができると通行禁止道路通行許可証を取得するのに手間がかかること、遠くから来訪する親戚や友人の方も、通行許可証を取得していないと自動車などでは家に入つてくれないといった苦情をいただいている。

当然、歩行者の安全が最優先となるが、住民の方の利便性の向上も重要である。



規制変更を

Q 長すぎる規制時間を、例えば午前7時から午前9時と午後2時から午後4時の児童・生徒の登下校時刻に限定するなど、規制時間を変更することは可能であるか。

A 企画調整部長
当該道路は、豊山小学校の通学路に指定されている。そのため、規制内容を変更する場合は、沿線住民の了解や、豊山小学校との調整などが必要となる。これらの条件が整った場合、西枇杷島警察署を通じて愛知県公安委員会が決定する。

Q この規制で除外されている休日とは、国民の祝日に関する法律で規定されている元日や成人の日など16日と振替休日になるが、土曜日が含まれていない。

平成14年4月から学校週5日制となり、土曜日が休業日になった。学校休業日の土曜日も規制を除外するべきと考えるが、どうか。

A 企画調整部長
長い年月の間に週休2日制の普及や生活習慣、沿線の状況など大きな変化があり、規制に対する考え方も変わってきているものと思うが、規制内容を変更する場合は、沿線の住民などの了解が必要となる。

Q 通学路が変更になった後、通学路の看板が残っている事例があったが、必要になった看板の撤去は定期的に行っているのか。

A 企画調整部長
通学路は、毎年、通学路点検を実施し、児童の安全確保を図っており、その結果、通学路を変更する場合は、必要となった看板は、随時撤去している。

Q 町道の通行の利便性を考えると、町全体の規制について見直しが必要と考えるが、町としての考えはどうか。

A 企画調整部長
繰り返しになるが、交通規制の解除や新設、変更については、子どもや高齢者などの交通弱者の安全確保を第一に、沿線住民の方の合意形成、学校との調整などが必要となる。そのため、町が町域全体を一律に見直ししていくことは困難であると考えている。



登下校時は規制が必要



委員会合同研修

～能登半島地震に学ぶ～

能登半島地震被災地の応援に、町職員や社会福祉協議会職員が派遣されました。派遣された職員より実情・体験を聞き、今後の町の災害への備えや対応策向上に資するため、総務文教委員会、福祉建設委員会合同で研修会（報告会）を7月2日に行いました。

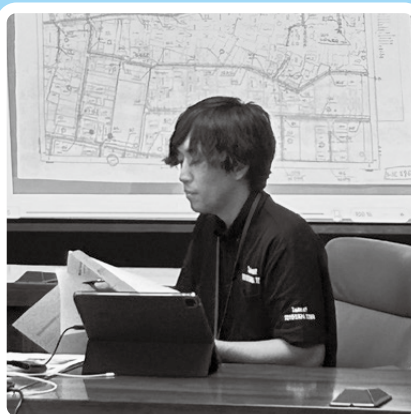


6月定例会

議案PICKUP

一般質問

トピックス



①派遣時期 ②主に担った業務

まちづくり推進課 **野崎主事**

- ①令和6年5月
- ②被災住宅等の被害認定
二次調査

防災拠点推進室 **八代主事**

- ①令和6年1月
- ②下水道被害災害復旧
一次調査

社会福祉協議会 **中野主事**

- ①令和6年3月
- ②災害ボランティアセンター
運営支援



▲現地調査の様子

総務文教・福祉建設

総務文教委員会

委員長 岡島 剛

派遣された職員が被災地での活動を通じて多くの貴重な経験を積み、重要な学びを得られたことを確認しました。このような経験は、被災地の支援にとどまらず、本町の災害対策にも大いに資するものと再認識しました。

建物被害の認定調査においては、実地訓練や判定基準の理解を深めることに加え、外部の協力者を前提とした、マニュアルやシステムの作成、専門家を活用した効率的な調査の実施も、本町においても考慮すべきであると感じました。

職員の現地での活動経験が、防災訓練などに反映され、町民の皆さまの防災意識の向上に繋がることが重要です。また、自走式水洗トイレカーの導入などは、町の防災力を高めるためにも有効であると考えられます。議会としても、災害が起きたときに、少しでも被害が少なくなるような提言ができるように調査・研究してまいります。



福祉建設委員会

委員長 作野 桂子

今回は災害派遣された職員さんから現地での活動について、さまざまなお話を聞かせていただきました。

災害ボランティアセンターには災害発生時に全国各地からボランティアの方々が集まるため、備品や広い駐車場を事前に準備する必要がありますと考えています。珠洲市では以前から関わりのある技術系NPOさんがすぐに駆け付けてくれたそうですが、普段から多様な方たちとの関係を構築することが大切だと改めて感じました。

また、被災住民の方々はもちろんですが、災害対応業務に従事する公務員の皆さんも被災者であり、心身に大きな負担がかかる点や1人に大きな負担がかからないよう配慮することも大切だと感じました。

町民のみなさんには家族の命を守るために、日頃から災害に対する備えと避難経路などについて家族や友人、職場で話し合っていたことと地域でのコミュニティを大切にしていたかどうか、お願いします。

これからも議会として町の防災施策にしっかりと反映できるよう働きかけていきます。



輝く人を紹介

町のキラッと

地域活性化に 立ち上がる若者!!

とよやまDEないと実行委員メンバー

実行委員としての責任感や経験が、どのように自己成長に繋がっているのか、お聞きました。

Q.実行委員になったきっかけは何ですか。

A.毎年楽しんでた祭りだったので、何か恩返しが出来たらいいなと思い参加しました。また、とっても楽しい夏祭りなので町民はもちろん、町民以外の人にも祭りの良さを知って欲しいです。
〈植島 理瑠さん〉

Q.実行委員を通じて学んだことや感じたことは何ですか。

A.運営することの大切さ、話し合いの大切さです。誰かひとりが頑張るんじゃなくてみんなで支え合う力、全員が一丸となってひとつの目標に進んでいく力です。
〈梶原 僚記さん〉



Q.とよやまDEないとへの成功に向けて最も重要だと思うことは何ですか。

A.今までとは違う新たな取り組みを行うことだと思います。今年は有名TikTokerを呼ぶなど昨年までとは違う新たな楽しみ方があると思います。
〈水野 蒼唯さん〉

Q.実行委員としての経験が、将来にどのように役立つと思いますか。

A.大人と平等の発言権利を持っている状態でディスカッションをしたことがなかったので、その雰囲気を楽しむことができました。
〈今井 麻央さん〉

編集後記

6月議会では、新栄小学校の便器の洋式化や床の乾式化などのトイレ改修工事契約が可決されました。一方で、志水小学校については、入札が2回行われましたが、残念ながら不調に終わりました。

小学校のトイレは、子どもたちが毎日使うものであり「トイレが臭いから学校へ行きたくない」と、不登校の原因の一つに挙げられる程、重要です。早期解決に向けて議会として調査し、議会だよりでご報告してまいります。

作野 桂子

表紙のコメント

5月25日、町内の3小学校で運動会が行われました。写真は新栄小学校の徒競走の様子です。暑い1日でしたが、どの子も一生懸命頑張りました。



広報編集委員

委員長 岩村みゆき
副委員長 作野 桂子
委員 岡島 政信
岡島 剛
岩下 竜也

寄付行為の禁止

議員はお祭りへの寄付や町内会の催しものへ差入れすることを禁止されています。有権者が求めてもいません。ご理解をお願いします。

次回定例会の予定

9月 2日(月) 開会・議案説明
9日(月) 一般質問
10日(火) 議案質疑
11日(水) 福祉建設委員会
総務文教委員会
12日(木) 予算決算特別委員会
13日(金) //
18日(水) 討論・採決・閉会

開始時間は午前9時30分から(総務文教委員会と最終日は午後1時30分から)です。議事の都合により、日程が変更になる場合があります。